

日本骨髄バンクの現状（平成 25 年 12 月末現在）

	11 月	12 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,631	3,273	441,525	601,047
患者登録者数	230	234	2,278	40,555
移植例数	117	92	—	16,409

■12 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,065 人
20 代	72,288 人
30 代	151,232 人
40 代	171,096 人
50 代	43,844 人

■12 月の 20 歳未満の登録者 279 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■12 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,405 人、献血併行型集団登録会／1,688 人、集団登録会／95 人、その他／85 人

■12 月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：33 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）972 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）581 件

■国際協力の現状（2013 年 10 月～2013 年 12 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数 0 件：累計移植数：179 件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数 2 件：KMDP 1 件、NMDP 1 件：累計提供数：230 件

1 平成 25 年の移植数およびコーディネート状況

本年 1 月 1 日に「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が施行され、当法人は、「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業」の許可を受けるべく申請の準備を進めています。

当法人は昨年 10 月に名称を日本骨髄バンクに変更しました。9 月に累計移植数が 16,000 件を超え、11 月にはドナー登録者が 44 万人に到達しました。

平成 25 年 1 月～12 月の移植数は 1,360 件（国内ドナー⇒国内患者：1,343 件、海外ドナー⇒国内患者：4 件、国内ドナー⇒海外患者：13 件）でした。平成 24 年の件数（合計：1,336 件、国内ドナー⇒国内患者：1,322 件、海外ドナー⇒国内患者：6 件、国内ドナー⇒海外患者：8 件）と比べ、総数で 24 件増加し、前年比 102% で過去最高となりました。

また、確認検査数は 5,606 件（前年 5,760 件、前年比 97%）、最終同意は 1,656 件（前年 1,608 件、同 103%）でした。コーディネート期間については、ドナーコーディネート開始から骨髄採取までの期間の中央値は 126 日で、前年の 122 日より 4 日延長しました。

ドナーの方をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方やコーディネーターの皆さまなど、多くの関係者の方々のご尽力とご協力に改めて感謝を申し上げます。

2 平成 25 年のドナー登録者数

平成 25 年 1 月～12 月の新規ドナー登録者数は、平成 24 年の 40,013 人に比べ 6,120 人減の 33,893 人（前年比約 15% 減）となりました。都道府県別に見ると、平成 24 年と同様に献血ルームへの説明員派遣を行った埼玉県が 3,314 人で全国トップ、次いで東京都の 3,287 人、前年同様、ボランティア団体による登録者拡大への取り組みを実施した栃木県が 2,321 人と続いています。

また、9 月より県の緊急雇用対策で県内 2 カ所の献血ルームへの説明員派遣を行っている神奈川県が 1,306 人（平成 24 年 789 人）と大きく登録者数を伸ばしています。

窓口別では、献血ルームの登録者数が大幅に減少したことから、新規登録者のうち献血併行登録会での登録数の割合が 59%（平成 24 年）から 64%（平成 25 年）と高くなっています。

ご登録いただいたドナーの方々、登録者拡大のためにご尽力いただいた関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

3 平成 26 年度移植対策関係予算（案）について

昨年末、平成 26 年度政府予算が閣議決定されました。26 年度の造血幹細胞移植対策に関する予算については、総額約 20 億 3,000 万円です（前年度比 1.5 億円増）。

一方、当法人に関する予算（骨髄移植対策事業費）は約 4 億 6,000 万円で、一部の予算は微増となるものの、ACジャパンの支援キャンペーンが本年 7 月以降中止となるため、結果的に前年度より 560 万円ほど減額となります。

そのほか関連する予算としては、造血幹細胞移植の拠点的な病院の整備のため、26 年度下期から新規に 3 カ所分が追加計上されたほか（造血幹細胞移植医療体制整備事業：1 億 6,400 万円）、造血幹細胞移植に関する情報の一元的な提供を行うためのポータルサイト構築費用（造血幹細胞提供支援機関業務経費：6,500 万円）などが計上されています。

また、平成 24 年度から開始された末梢血幹細胞採取認定施設の拡大を図るための造血幹細胞数測定装置の整備に関する補助についても、引き続き実施される予定です。

なお本予算案は、国会での成立をもって確定することになります。

4 コーディネーター養成研修会について

昨年 10 月より北海道、関東、近畿、中四国の各地区でコーディネーター養成研修会の受講者を募集しましたが、全国から 258 人の方にご応募いただき、書類・電話による選考の結果、34 人の受講者を決定しました。募集に際してご協力いただいた方々にお礼を申し上げます。

1 月 11 日（土）、12 日（日）に東京で開催された開講式及び集合研修を皮切りに、3 月下旬までそれぞれの地区で研修が行われます。研修生の見学・実地研修の際には、調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまにご指導いただくことになります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 71 施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

東京慈恵会医科大学附属柏病院

・移植診療科

同左 血液・腫瘍内科

山口大学医学部附属病院

同左 第三内科

滋賀医科大学医学部附属病院

同左 無菌治療部

新規認定施設については、当法人ホームページ＞患者さんへ＞移植認定病院およびドナー登録されている方へ＞面談施設一覧でもご覧いただけます。

6 当法人の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
医療委員会	公開・一部非公開	1月18日（土）10:30～ 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月23日（木）17:30～ 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネート関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 インフルエンザに関する対応について＜コーディネーターの方へ＞

インフルエンザが本格的に流行の兆しをみせています。

これを受け、昨年同様ドナーコーディネート部にインフルエンザ相談窓口を設置します。また、ドナーおよび患者保護の観点から、コーディネート進行中のドナーの方へ対応を実施します。詳細は別添文書をご確認ください。

なお、対応については今後の状況により変更されることもありますので、その際は随時、連絡します。

■主な内容

- コーディネーター、ドナーへマスクを配布します。
- ドナー選定時にドナーに対してインフルエンザに関するチラシを送付します。
- チェックシートを用いてコーディネーターがドナーの健康状態をチェックします。
- ドナー、コーディネーター、事務局員がインフルエンザを発症したり症状が見られた場合は接触を避け、速やかに報告し、指示を仰ぎます。

8 PBSCドナーの適格性（血管確保）について

現在の適格性判定基準では、「PBSCは、上肢（正中静脈等）である程度太い血管が確保できない場合は不可」とされています。

本基準に関して、調整医師より両腕とも血管確保が必要なのかとの質問が寄せられましたので、改めてドナー安全委員会に確認しました。

採血はある程度の太い血管が必要ですが、返血は、多少細くてもルートがとれれば可能ですので、確認検査時に調整医師が「採血可能な血管が確保できる」と判断されれば、片腕でも「可」としますが、基本的には両腕で血管確保ができることが望ましいと考えます。

9 確認検査時のドナー適格性の確認について＜調整医師の方へ＞

確認検査時の問診等で、ドナー適格性判定基準の確認が不十分であったため、採血を実施後「不適格」となる症例が複数報告されています。

ドナーから健康内容についての申告があった場合は、必ず、ドナー適格性判定基準を確認の上、ドナーの方の適格性についての判断をお願いします。

10 初期コーディネートの督促管理の変更について

コーディネート期間短縮を目的として、初期行程における督促管理期間を変更します。

○開始日：2014 年 1 月 15 日（水）から

以下、主な変更点です。

●督促状出力

旧）開始シート発送日から 14 日目に出力

↓

新）開始シート発送日から 7 日目に出力 に変更

※「督促状」の内容も修正しました。

●電話督促

旧）開始シート発送日から 21 日後に電話督促

↓

新）開始シート発送日から 14 日後に電話督促 に変更

11 国際コーディネートの迅速コース開始について

国際コーディネートについては、これまで迅速コースの対応をしていませんでしたが、今後、国内患者と同様に迅速コースを開始します。集荷業者の都合で検体回収時間が限られていますが、出来る限り迅速コーディネート対応をお願いします。

○開始時期：2014 年 1 月 16 日（木） コーディネート開始分から

12 遺伝情報開示の説明書およびQ & Aの改訂について＜コーディネーターの方へ＞

昨年実施したコーディネーターブラッシュアップ研修会で遺伝情報開示の説明書およびQ & Aの改訂について担当者から説明しました。

3月7日～9日に沖縄県で開催される第36回日本造血細胞移植学会総会で、遺伝情報開示に関してポスター展示による発表を予定しています。そのため、新しい説明書およびQ & Aについては展示内容とともに3月のマンスリーJMDPで報告します。また、新しい説明書およびQ & Aは4月1日からの使用を予定しています。

13 「2014 年 台帳登録提出のお願い」について＜移植施設の方へ＞

1月15日に一般社団法人日本造血細胞移植データセンター(JDCHCT)/日本造血細胞移植学会(JSHCT)から発出された「2014 年 台帳登録提出のお願い」でご案内のとおり、「台帳登録」の提出がされていないと、原則として移植施設認定の更新がされません。台帳登録の提出期限は2月20日までとなっていますので、必ずご提出くださいますようお願いいたします。詳細については、別添「2014 年 台帳登録提出のお願い」をご確認ください。

14 連絡事項**◆平成 26 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査について＜採取認定施設の医師の方へ＞**

平成 26 年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の認定更新調査を開始しました。返送いただく書類は、次の4種類となります。

- ①平成 26 年度非血縁者間《骨髄および末梢血幹細胞》採取施設の認定更新調査票（病院情報）
- ②各委員会《輸血療法委員会・感染症対策委員会・医療安全（事故）対策委員会》の議事録
※直近開催のもので開催日・開催場所・出席者の記載があれば内容は必要ありません。
- ③『自己血専用保冷库』並びに『感染血専用保冷库』設置状況確認報告書
- ④認定証の発行について（お伺い）

該当施設の関係者の皆さまには、お忙しいところお手数をお掛けしますが、提出期限に遅れないようご協力のほどよろしくお願いいたします。

■提出期限：平成 26 年 2 月 3 日（月）

◆各種データについて

今号では、マンスリーJMDP に毎号掲載している「コーディネート件数（月次データ）」の他に、「コーディネート件数（2013 年実績）」「コーディネート期間（2013 年実績）」を同封します。